

芸術・文化

瀬戸市制施行 90 周年事業

磁祖・加藤民吉フォーラム

☎ 文化課
☎ 84・1093

2022年に、瀬戸の磁祖である加藤民吉が誕生してから 250 年を迎えます。この記念すべき年に向けて、再度「民吉」という財産を新しいまちづくりに活かしていくことを目的に、民吉の功績や精神を学ぶフォーラムを開催します。※ご来場の方に民吉が修業した佐々町(長崎県)認定特産品「民吉もなか」を、フォーラム I では 100 人、フォーラム II では 200 人にプレゼント(先着順) ※両日とも入場無料、申込不要

【フォーラム I】

民吉の功績について再考し、瀬戸の歴史と歩みを振り返ります。

日時 12月8日(日) 午後2時～ 場所 文化センター文化交流館3階 31会議室

内容 第一部 講演①「瀬戸染付 初期の様相」講師：仲野泰裕氏
講演②「加藤民吉の生涯」講師：山川一年氏
第二部 シンポジウム「磁祖・加藤民吉について考える」
パネラー：山川一年氏(元歴史民俗資料館館長)
仲野泰裕氏(元愛知県陶磁美術館副館長)
谷口雅夫氏(元(公財)瀬戸市文化振興財団事務局長)
コーディネーター：旭堂鱗林氏(講談師/瀬戸市広報大使)



【フォーラム II】

民吉の功績を新しいまちづくりなどにどう活かすか、瀬戸の未来像をディスカッションします。

日時 1月19日(日) 午後1時30分～ 場所 瀬戸蔵2階 つばきホール

内容 第一部 講演「磁祖・加藤民吉物語」/ 旭堂鱗林氏
第二部 シンポジウム「民吉から学ぶ瀬戸の未来(仮題)」
パネラー：桂武弘氏(日本旅行総研主任研究員) 古池嘉和氏(名古屋学院大学現代社会学部教授)
中崎毅氏(水野中学校校長) 伊藤保徳(瀬戸市長)
コーディネーター：旭堂鱗林氏(講談師/瀬戸市広報大使)

せと歴! 「陶器生産の変革」

瀬戸・美濃窯 中世窯から近世連房まで

☎ 文化課
☎ 84・1093

瀬戸・美濃窯の陶器生産を、古窯館の中世窯、復元窯炉の戦国期大窯や近世以降の連房式登窯を見学することで学びます。また、江戸時代中期における瀬戸窯と美濃窯の生産・流通についての実態を主要な窯跡と消費地遺跡出土資料によって概観する企画展「陶器生産の改革—江戸中期の瀬戸窯と美濃窯—」を、展示説明会にあわせて観覧します。

日時 12月14日(土) 午後1時～4時30分

集合場所 愛知県陶磁美術館(南山口町234) 古窯館前(大駐車場脇)

申込方法 12月2日(月)午前10時から電話でお申し込みください。

参加費 無料 定員 50人(先着順)



古窯館(南山9号窯跡)

瀬戸市制施行 90 周年記念 市美術館特別企画展

小森忍・河井寛次郎・濱田庄司—陶磁器研究とそれぞれの開花—

☎ (公財)瀬戸市文化振興財団
☎ 84・1093

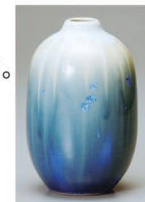
■ギャラリートーク開催について

学芸員による展示解説を聞きながら、作品を鑑賞するギャラリートークを行います。

日時 12月15日(日) 午後1時30分～ 場所 市美術館展示室

※事前申込不要、要入館料

※企画展のくわしい内容は、広報せと 10月1日号 14 ページをご覧ください。



小森忍/藍青寶石釉棗壺
/1951-62年

企画展「瀬戸染付の文様—写実の美—」関連イベント

瀬戸染付工芸館クイズ

☎ 瀬戸染付工芸館
☎ 89・6001

期間 12月1日(日)～27日(金) 午前10時～午後5時

場所 瀬戸染付工芸館 交流館2階

内容 展示室に掲示のクイズに挑戦! 全問正解した方に、染付マグネットなどをプレゼントします。※景品がなくなり次第終了 ※1人につき1回限り

休館日 火曜 入館料 無料

※企画展のくわしい内容は、広報せと 10月1日号 13 ページをご覧ください。



景品イメージ

文化センターは、保守点検のため12月10日(火)、12月28日(土)～1月4日(土)を臨時休館します。
瀬戸蔵は、保守点検のため12月23日(月)および12月28日(土)～1月2日(木)を全館休館します。
1月3日(金)、4日(土)を1階飲食店舗を除き休館します。(駐車場利用可)

文化センター ☎ 84・1811
瀬戸蔵 ☎ 97・1555